
(独)産業技術総合研究所
超伝導クリーンルーム(CRAVITY)
Clean Room for Analog-digital superconductivity (CRAVITY) in AIST

産総研のCRAVITYは、低温超伝導デバイス作製のための公開されたクリーンルームです。

(1) スタッフ(H25年7月現在)

CRAVITY運営委員会

運営委員長: 大久保 雅隆

運営委員: 金丸 正剛、神代 暁、浮辺 雅宏、日高 睦夫

CRAVITY登録者: 23名

(2) CRAVITYの簡単な紹介

CRAVITYは、産総研の計測フロンティア研究部門、ナノエレクトロニクス研究部門と(公財)国際超電導産業技術研究センター(ISTEC)の持つ低温超伝導デバイス開発環境を統合し、プロセス技術の共有化による競争力を強化することを目的に、2012年の11月に産総研つくばセンター内に設立されました。また、CRAVITYの活動を強化するために、ISTECの低温超伝導デバイスプロセスグループが2013年の4月から産総研所属となりました。

CRAVITYは、産総研の先端機器共用イノベーションプラットフォーム(IBEC)の一環として、内外の研究者に公開されています。登録申請を行い利用が許可されれば、利用料を支払うことで誰でもCRAVITYの設備を使ったデバイス作製が可能となります。また、超伝導デバイス作製に習熟したスタッフが揃っていますので、ご相談いただければ、新しいデバイスの提案やより高度なデバイスの作製を行うこともできます。

(3) CRAVITYの装置

CRAVITYには、露光装置、スパッタ装置、反応性イオンエッチング装置、洗浄装置、検査装置等がそれぞれ複数台設置されており、材料や目的に応じて使い分けることができます。

<http://unit.aist.go.jp/riif/openi/cravity/ja/index.html>にある「施設&機器」の項目をご覧ください。それぞれの装置の写真、詳細な仕様、使用の条件、時間当たりの使用料が表示されています。

(4) 連絡先

〒305-8568 茨城県つくば市梅園1-1-1 産総研中央第二

産業技術総合研究所ナノエレクトロニクス研究部門 日高 睦夫

E-mail: m-hidaka@aist.go.jp Tel: 029-861-5055



図1 CRAVITYのロゴマーク。今後このロゴマークが様々な場面で見かけられることを期待している。

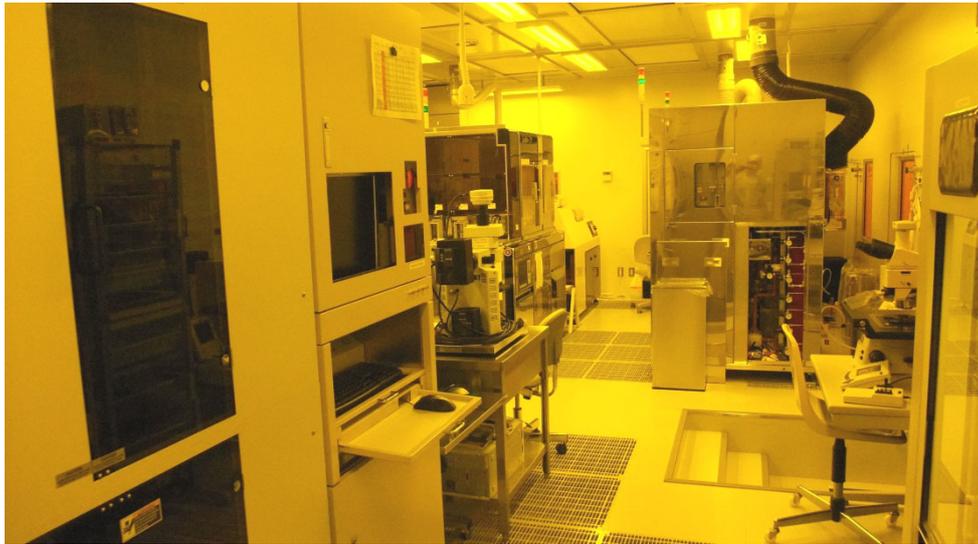


図2 CRAVITYリソグラフィー室（クラス100）の内部。手前がi線ステッパー、右奥が有機洗浄装置、左奥がコータ・デベロッパー（フォトレジスト塗布・現像装置）。